

「全国高校生読書体験記コンクール」中央入賞者（敬称略）

【文部科学大臣賞】 福井県立藤島高等学校 二年

くぼ たりょうと 久保田琉仁 九百三グラムの命をみつめる旅
（体験書籍『いつか貴い陽のしたで』辻聖郎・著）

【全国高等学校長協会賞】 石川県立金沢桜丘高等学校 二年

なかの こうじ 中野光志 死に関わる様々な意匠
（体験書籍『死に支度』瀬戸内寂聴・著）

【全国高等学校長協会賞】 佐賀県立佐賀西高等学校 二年

すぎはら しょうた 杉原翔太 「言葉」の海
（体験書籍『舟を編む』三浦しをん・著）

【一ツ橋文芸教育振興会賞】 北海道札幌南高等学校 二年

ふるたて あさひ 古館旦陽 きのう、隣人に語りかけたこと
（体験書籍『銃口』三浦綾子・著）

【一ツ橋文芸教育振興会賞】 栃木県

ちやう りゅうすけ 長龍佑 心を通わせる
（体験書籍『白い犬とワルツを』テリー・ケイ・著 兼武進・訳）

【一ツ橋文芸教育振興会賞】 兵庫県 関西学院高等部 三年

きたじま みなこ 北嶋弥那子 推敲を重ねた「本作り」への夢
（体験書籍『花森安治の編集室』「暮しの手帖」ですごした日々」唐澤平吉・著）

【一ツ橋文芸教育振興会賞】 和歌山県

たかお みゆ 高尾美結 私たちが理解できないことについて
（体験書籍『レミング物語』アラン・アーキン・著 今江祥智、遠藤育枝・共訳）

和歌山県 智辯学園和歌山高等学校 二年

【一ツ橋文芸教育振興会賞】 宮崎県立宮崎南高等学校 一年

かわの れいか 河野澪花 知ろうとする努力
（体験書籍『跳びはねる思考 会話のできない自閉症の僕が考えていること』東田直樹・著）

東田直樹・著

第38回「全国高校生読書体験記コンクール」入賞者（敬称略）

【優良賞】 39編

青森県	私立	青森明の星高等学校	二年	根津 葵	本当の支援の先に見えるもの
岩手県	県立	花巻北高等学校	二年	佐々木 晴	九十だおんなあ
宮城県	県立	仙台二華高等学校	一年	今野菜那	生死
秋田県	県立	大館桂桜高等学校	一年	北林詩野	友だち力
山形県	県立	米沢興譲館高等学校	二年	岩松里奈	「完璧」や「普通」の価値
福島県	県立	会津高等学校	二年	大竹なぎ	「戦争」と向き合った夏
茨城県	県立	水戸第一高等学校	二年	深谷友香	自分の中の他者
群馬県	私立	共愛学園高等学校	三年	佐藤文音	生き抜くこと
埼玉県	私立	星野高等学校	三年	齋藤瑞貴	共に生きること
千葉県	国立	筑波大学附属聴覚特別支援学校高等部	二年	宮城美月	画面の向こう側
東京都	私立	白百合学園高等学校	二年	金子瑞花	未来を開く問いの答えを求めて
神奈川県	私立	聖セシリア女子高等学校	二年	稲垣友梨	人の役に立つ生き方
新潟県	県立	長岡高等学校	三年	齋藤淑人	私の再発見
富山県	県立	南砺福光高等学校	二年	川田優華	『うまくいっている人の考え方』
山梨県	県立	北杜高等学校	二年	興水華奈	捉え方を変えるだけで
長野県	私立	松本第一高等学校	一年	中村綾花	「負の史実」と向き合う
岐阜県	県立	岐阜県立揖斐特別支援学校高等部	一年	安田真以香	個性を輝かせるために
静岡県	私立	静岡雙葉高等学校	三年	石上 恵	一つの人生、日常に思いを馳せる
愛知県	私立	椋山女学園高等学校	三年	齋藤まりの	自分を愛するということ。
三重県	国立	鈴鹿工業高等専門学校	二年	間瀬萌々子	声無き声
滋賀県	県立	水口東高等学校	二年	栢木桃花	命の為に出来ること
京都府	府立	西乙訓高等学校	二年	田中紅実	言葉の力
大阪府	国立	大阪教育大学附属高等学校平野校舎	二年	小路百香	わが思考、すべてこの中にあり
奈良県	県立	橿原高等学校	一年	大木のぞみ	五彩の虹を願い今を共に
鳥取県	県立	米子東高等学校	一年	北村藍子	母からのギフト

島根県	県立	益田翔陽高等学校	一年	新田喬花	命をつなぐ言葉
岡山県	県立	倉敷天城高等学校	一年	末長真理	強く生きる
広島県	市立	広島市立沼田高等学校	二年	谷口礼奈	夏の半券
山口県	県立	徳山高等学校	二年	近藤優歩	甲子園の力
徳島県	県立	名西高等学校	二年	樋口佳須美	繋がり
香川県	県立	坂出高等学校	二年	丸山心桜	自分と向き合うお茶の時間
愛媛県	県立	宇和高等学校	三年	井上遥奈	もしかしたらの光
高知県	私立	高知学芸高等学校	二年	麻植梨緒	変わらないもの
福岡県	県立	東筑高等学校	一年	野口明日香	「博士」と「数学」との出会いとこれからの私
長崎県	県立	猶興館高等学校	二年	今村翔吾	介護
熊本県	県立	熊本高等学校	一年	大友美空	才能と生きること
大分県	県立	佐伯鶴城高等学校	三年	堀口裕貴	中也と出会う旅
鹿児島県	県立	鶴丸高等学校	二年	宮園理帆	薔薇色の君へ
沖縄県	県立	那覇高等学校	二年	大城幸弥	気づく心

【入選】

188編 (各県の校名・氏名は五十音順)

北海道	道立	旭川北高等学校	二年	片山葉月	命を食べるということ
	道立	旭川北高等学校	二年	関 花衣	辞書について
	道立	札幌国際情報高等学校	二年	ろりんカーリック信幸	大空を鳥のように
	道立	札幌月寒高等学校	一年	穂田駿佑	ディストピアに精神統一を
青森県	県立	八戸高等学校	一年	藤田海羽	私の恩人
	県立	八戸高等学校	一年	水石萌菜	私の生きる意義
	県立	八戸高等学校	二年	野田頭咲希	犯罪の手前で踏みとどまるために
岩手県	県立	八戸高等学校	二年	松村美来	人間としての強さ
	県立	一関第一高等学校	二年	千田愛海	向き合いたいもの
	県立	盛岡工業高等学校	三年	熊谷 萌	顔晴るためにすべきこと
	県立	盛岡第三高等学校	二年	金子愛佳	向き合う強さ
	県立	盛岡第三高等学校	二年	國崎萌子	何も写さないカメラ
宮城県	県立	白石高等学校	二年	岸野愛菜	普通を生きること

	県立	仙台三桜高等学校	二年	高橋侑生	心を反映させる
	県立	仙台第二高等学校	二年	小山麻妃	誰かのために死ぬ気で走る
秋田県	県立	仙台南高等学校	二年	高橋怜那	自分の道
	県立	秋田西高等学校	一年	岩谷ゆい	関わりをもつ
	県立	大館桂桜高等学校	一年	秋田郁弥	『ふたご』が教えてくれた本当の絆
	県立	大館桂桜高等学校	一年	安部詩音	一日の価値
	県立	十和田高等学校	一年	藤田葉月	心が通い合うキセキ
山形県	県立	上山明新館高等学校	一年	寒河江優菜	幸せになる生き方
	県立	新庄南高等学校	一年	土田朱莉	ともに生きる
	県立	新庄南高等学校校金山校	二年	高橋佳奈子	みんな違ってみんないい
	市立	山形市立商業高等学校	二年	谷川真琴	人の目に映る自分
福島県	県立	会津高等学校	二年	梅宮悠悟	一冊の本から学んだこと
	県立	安積黎明高等学校	一年	三浦舜平	Knock The door
	私立	郡山女子大学附属高等学校	三年	久保香子	外村青年という鏡を通した自分
	県立	須賀川高等学校	一年	長谷川裕奈	嘘がもたらしてくれる幸せ。
茨城県	県立	水戸第一高等学校	二年	内田賜恵	幸せについて
	県立	水戸第一高等学校	二年	小栗舞桜	「悲しみ」を迎えないために
	私立	茗溪学園高等学校	一年	小出 暖	繰り返し返すもの、変わりゆくもの
	私立	茗溪学園高等学校	一年	戸部遥太	「考える」ということについて考える
栃木県	県立	宇都宮高等学校	一年	土屋皓平	『日本のいちばん長い日』を読んで
	県立	宇都宮女子高等学校	二年	齋藤舞喜	そのいのちを、次へ。
	県立	宇都宮東高等学校	二年	根本桃果	煌めき
群馬県	県立	真岡女子高等学校	二年	澤辺美佳	天国への手紙
	県立	高崎健康福祉大学高崎高等学校	二年	榎本満里奈	家族のために
	県立	高崎女子高等学校	二年	中嶋理名	アドラーから学んだ事
埼玉県	県立	前橋女子高等学校	二年	保坂恭子	夢へいざなう人と言葉と
	私立	秋草学園高等学校	二年	元木しおり	私と組織
	私立	秋草学園高等学校	二年	吉澤美羽	私を変えた本
	私立	星野高等学校	一年	野城知里	変化する想い
	私立	星野高等学校	三年	田中美穂	三十一文字と共に
	私立	星野高等学校	三年	田中美穂	モチベーションを持って未来を創造する

千葉県	県立	国分高等学校	二年	増田さりあ	絶望から救ってくれた本
	国立	筑波大学附属聴覚特別支援学校高等部	一年	齋藤光貴	小学生の頃の夢
	国立	筑波大学附属聴覚特別支援学校高等部	三年	伊東碧海	有害なのか？
	国立	筑波大学附属聴覚特別支援学校高等部	三年	徳倉亜依	挫折の先にある幸せ
東京都	私立	女子学院高等学校	一年	伏屋祐希	空の下で
	私立	白百合学園高等学校	三年	平山 薫	いただきます
	国立	筑波大学附属桐が丘特別支援学校高等部	一年	杉本真知子	「気の毒だ」と思うこと
	私立	早稲田大学系属早稲田実業学校高等部	二年	小野遥夏	「祈る」ということ
神奈川県	市立	川崎市立川崎総合科学高等学校	一年	百瀬 楓	証言者
	私立	聖セシリア女子高等学校	二年	佐藤ひより	まずは自分から
	私立	聖ヨゼフ学園高等学校	二年	西村友希	何十年でも読みたい本
	県立	平塚中等教育学校	四年	堀江里菜	きっかけ
新潟県	私立	第一学院高等学校新潟キャンパス	三年	星山玲奈	前を向いて
	県立	高田北城高等学校	一年	石橋絢子	不正義の平和
	私立	帝京長岡高等学校	二年	前田操紀	わたしの母はフィリピン人
	県立	新潟高等学校	二年	高橋まりあ	五彩の虹を掛ける
富山県	県立	砺波高等学校	二年	掃部裕暉	悩んだその先に
	県立	富山商業高等学校	二年	田中映里奈	繋ぐ命・繋がる出会い
	県立	富山中部高等学校	一年	神谷夏花	今この瞬間を精一杯生きる
	県立	富山北部高等学校	二年	梅澤杏樹	思い出と共に生きる
石川県	国立	金沢大学附属高等学校	一年	小坂桃香	花と、歪んだコンタクトレンズ
	国立	金沢大学附属高等学校	一年	紺谷真里	夢の叶え方
	国立	金沢大学附属高等学校	二年	北野真侑子	文学を、生きる
	県立	金沢二水高等学校	一年	坂口 歩	お父さん
福井県	県立	羽水高等学校	二年	青山櫻子	『かがみの孤城』を読んで
	県立	金津高等学校	三年	稲木瑠亜	二重のやさしさ
	県立	高志高等学校	三年	北嶋紀子	文系学部について
	県立	藤島高等学校	一年	細川詩月	喜びを求めて
山梨県	県立	甲府東高等学校	一年	戸島瑞稀	つなげていって
	県立	甲府南高等学校	一年	横尾颯人	持ち続けたい気持ち

	県立	都留高等学校	二年	福田優香	全ての子どもに小さな望みを
	私立	山梨英和高等学校	一年	荻野ミチル	私にとつての救い
長野県	県立	蘇南高等学校	二年	遠山晏菜	カラフルな世界
	私立	松本第一高等学校	一年	坂井ひな	教育はお金か
	私立	松本第一高等学校	二年	腰原亜実	幸福とは貢献感
	私立	松本第一高等学校	二年	小林蓮	人生の目標に復讐という名を
岐阜県	県立	大垣北高等学校	二年	森 友汰	人生という森を進み続ける
	県立	大垣東高等学校	二年	宮堂未彩	平和のために
	県立	岐阜北高等学校	二年	播磨佑亮	炊き込みご飯
	県立	岐阜北高等学校	二年	水谷百花	玉子の外の世界は
静岡県	私立	静岡雙葉高等学校	三年	佐藤涼香	「解る」を求めて
	市立	浜松市立高等学校	一年	三上桃果	本の可能性
	県立	浜松西高等学校	二年	近藤 廉	二人の私に惑わされて
愛知県	私立	不二聖心女子学院高等学校	二年	石橋聡子	自分を見つめて生きる
	私立	愛知淑徳高等学校	二年	山口柚実	お茶を始める前よりも
	県立	一宮高等学校	二年	福村優葵	森を、歩く
	国立	豊田工業高等専門学校	二年	上田悠月	選択と道
三重県	県立	豊田西高等学校	一年	白柿晴花	今、此処にいること
	私立	暁高等学校	一年	伊藤希美	幸せな選択
	国立	鈴鹿工業高等専門学校	三年	西口莉央	死ぬ時こそ自分らしく
	国立	鈴鹿工業高等専門学校	三年	吉田知未	心を形にする
滋賀県	私立	セントヨゼフ女子学園高等学校	二年	辻 彩乃	わたしの「キッチン」
	県立	安曇川高等学校	一年	上尾志乃	輝く今と人生の定義
	県立	草津東高等学校	二年	新家有莉	特別な今
	県立	高島高等学校	三年	辻 千夏	踏み出す一歩
	県立	水口東高等学校	一年	森 初菜	磨いていきたい力
京都府	私立	京都女子高等学校	一年	上田朋果	心をひらく
	私立	京都女子高等学校	一年	黒田瑞穂	私が青春を懸けた、吹部に寄せて
	府立	洛西高等学校	一年	一島秀汰	森は海の恋人
	私立	立命館高等学校	二年	小川 萌	生きるとは何か

大阪府	国立	大阪教育大学附属高等学校平野校舎	二年	織茂真白	「かつこいい私」になるために
	国立	大阪教育大学附属高等学校平野校舎	二年	水谷佳央	戦争から得た平和への道
	市立	大阪市立高等学校	一年	平野良佳	自分を大切にする心
	府立	河南高等学校	一年	丸田大夢	フィリピン留学で学んだ自立心とコミュニケーションの取り方について
兵庫県	私立	小林聖心女子学院高等学校	二年	林 絵莉花	バナナの背景に
	私立	賢明女子学院高等学校	一年	告 優月	贈りもののいのち
	私立	星陵高等学校	一年	海老原瑠人	学ぶということ
	私立	姫路西高等学校	二年	濱野由菜	みんなの音
奈良県	私立	畝傍高等学校	一年	吉永衣織	大切なこと
	私立	橿原高等学校	二年	安東奈瑠映	苦悩を突き抜けて
	私立	青翔高等学校	二年	松本香乃美	世界は平和になる
	私立	青翔高等学校	二年	水野友晴	気づき
和歌山県	私立	近畿大学附属和歌山高等学校	二年	間藤千草	一人じゃない
	私立	智辯学園和歌山高等学校	一年	金谷ひまり	一期一会
	私立	智辯学園和歌山高等学校	一年	山崎麻菜美	国を超えた戦争の教え
	私立	智辯学園和歌山高等学校	二年	木田 花	世界中をとくべつな場所
鳥取県	私立	青翔開智高等学校	二年	内田奏杜	「種」と自己
	私立	鳥取湖陵高等学校	二年	土佐一葉	気づきから生まれた勇氣
	私立	米子北高等学校	二年	青尾海咲	人間関係について
	私立	米子西高等学校	二年	本田萌夏	自分にしか描けない世界
島根県	私立	出雲高等学校	一年	今若龍馬	決意
	私立	益田翔陽高等学校	二年	斎藤采花	かけがえのない人
	私立	松江南高等学校	二年	太田めい	オハナ
岡山県	私立	松江南高等学校	二年	坪内ちひろ	終わりのない人生
	私立	岡山朝日高等学校	二年	中山 萌	「いま」を肯定する
	私立	岡山東商業高等学校	二年	岸上汰颯	教訓を生かすために
	私立	笠岡高等学校	二年	池野柚香	かけがえのないガラクタ
	私立	倉敷天城高等学校	一年	楠 琉々華	摺んだ宝物
広島県	私立	広島市立沼田高等学校	二年	平田さくら	「知らんぷり」はできない
	私立	広島文教女子大学附属高等学校	一年	福原 萌	オリジナル発達との出会い

	市立	広島市立美鈴が丘高等学校	一年	荒井 優	嫌いな本が教えてくれる
	市立	広島市立美鈴が丘高等学校	二年	斉藤穂香	ヒロシマから伝えたいこと
山口県	県立	熊毛南高等学校	二年	晝田 望	なりたい自分
	県立	下関西高等学校	一年	川瀬百合子	作者からのメッセージ
	県立	下関西高等学校	一年	藤永祐利	なぜ神は沈黙したままなのか
	県立	徳山高等学校	二年	藤本陽生	生き方に迷ったら
徳島県	県立	城東高等学校	一年	福永航大	手紙屋に学んだこと
	県立	徳島北高等学校	二年	富士純美詠	「難民問題」と向き合う
	私立	徳島文理高等学校	二年	谷本智海	博士が愛した数式のように
	県立	富岡東高等学校	二年	中島日菜子	目指す
香川県	県立	高松高等学校	一年	桐谷陽菜	最後に診断を下すのは
	県立	高松商業高等学校	二年	長谷川珠希	社会で求められる人になるために
	県立	丸亀高等学校	一年	岡崎 藍	教室の私へ
	県立	丸亀高等学校	二年	大平拓真	「報道」の意味
愛媛県	県立	松山北高等学校	二年	井場木才紀	私の背中を押した『キッチン』
	県立	松山西中等教育学校	四年	岡田侑楽	炎天の中で
	県立	松山東高等学校	二年	沖田英里	終わることのない答え探しを今日も私は。
	県立	三島高等学校	三年	河端朝香	小さな世界と私
高知県	私立	高知学芸高等学校	二年	野村千咲	魔女になるために
	私立	高知学芸高等学校	二年	三浦楓太郎	自分が「自分」になるまでに
	県立	高知農業高等学校	三年	門脇ゆめ	父の背中へ家族のあり方へ
	県立	高知農業高等学校	三年	上池大智	豊かさを持った成長
福岡県	県立	小倉西高等学校	一年	斎藤めぐみ	和室で過ごす『今』
	県立	修猷館高等学校	二年	陣林貞紀	禅-ZEN-×日本の女子高校生
	県立	筑紫丘高等学校	一年	金子奈央	私の当たり前
	県立	門司大翔館高等学校	二年	菊池 鈴	時間の大切さ
佐賀県	県立	小城高等学校	二年	大坪結里加	日本史ってオモシロイ!!
	私立	弘学館高等学校	一年	星下笑瑠	親から子へ受け継ぐことは…
	県立	佐賀北高等学校	二年	牧 一徹	空を仰いで
	県立	鳥栖高等学校	二年	橋本咲歩	十六歳

長崎県	県立	壱岐高等学校	一年	山本ひかる	大事なものの
	県立	佐世保西高等学校	一年	古市 滯	人生の中の選択
	県立	長崎南高等学校	二年	宮地航太郎	相手を考える
	県立	猶興館高等学校	二年	黒木綾乃	本当の意味での平等とは
熊本県	県立	熊本高等学校	一年	角田景織子	「自分」を生きる
	国立	熊本高等専門学校熊本キャンパス	二年	上土井 茜	伝える
	私立	熊本マリスト学園高等学校	二年	糸永 愛	「私的生活」を探して
	私立	尚綱高等学校	三年	鶴田菜月	押された背中
大分県	県立	大分上野丘高等学校	二年	三嶋愛子	ライ麦畑の捕まえ手
	県立	大分商業高等学校	三年	小川璃子	努力すること 夢をかなえること
	県立	杵築高等学校	二年	幸松実央	おばあちゃんに会いたい
	県立	芸術緑丘高等学校	一年	藤内花恋	音を求めて
宮崎県	私立	聖心ウルスラ学園聡明中学校高等部	三年	柏田紗英	装備するのはかつての私
	私立	宮崎学園高等学校	三年	稗苗かのん	さよならの行く先
	県立	宮崎北高等学校	一年	齊藤瑠莉	ありのまま生きるということ
	県立	宮崎西高等学校	二年	渡邊日楽	闇に堕ちた先に
鹿児島県	私立	鹿児島第一高等学校	二年	末永里咲	おぼろげな灯を見詰めて
	県立	加治木高等学校	三年	深草混雅	「わからない」の壁に挑む
	県立	錦江湾高等学校	三年	長山そら	自分の「かくしごと」が人のためになる
	私立	樟南高等学校	二年	藤山諒子	あなたの温もりを
沖縄県	県立	開邦高等学校	一年	野村南実	死の恐怖
	県立	向陽高等学校	一年	大村加奈子	message
	県立	向陽高等学校	二年	島袋凜々	私の大嫌いな、でも役に立つ世界の共通言語
	県立	知念高等学校	三年	上江洲聖奈	私の目指す道

中央入賞者8名の受賞作品、および優良賞受賞者・入選者の氏名・学校名などは、「一ツ橋文芸教育振興会」のホームページに掲載されます。(2月中旬予定)
<http://www.hiotsubashi-bks.jp>